

## トラック輸送情報（平成21年12月分）

平成22年3月25日

国土交通省 総合政策局 情報政策本部 情報安全・調査課 交通統計室

担当：桑原、久島、菊池 内線28722

直通：03-5253-8346

ホームページ：<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html>

## 1. 特別積合せ貨物

## (1) 本月の概況

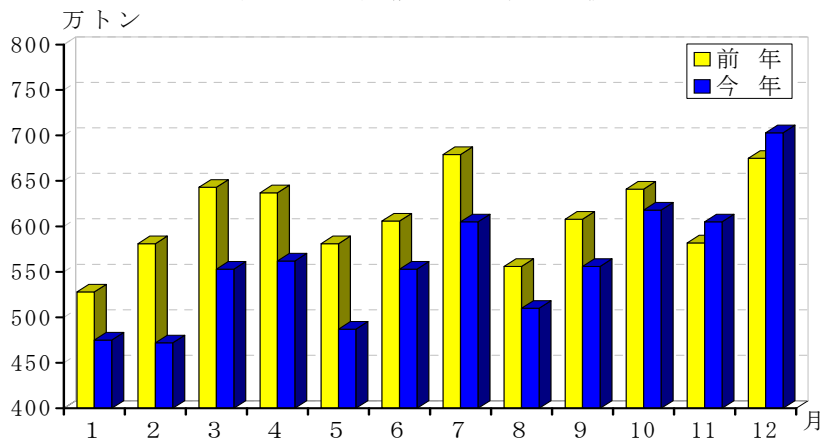
調査対象27社の本月の輸送量は、7,032,421トンで、前月と比べ総輸送量が約98万トン増加したため、前月比116.2%（季節調整済み99.7%）となり、前年同月との比較では、約28万トン増加したため、前年同月比104.2%の実績であった。

なお、平均稼働日数は23.6日で、前月と比べ0.7日増加し、前年同月と比べ0.3日の増加であった。稼働1日当たりの輸送量は、297,401トンで、前月と比べ約3万3千トン増加したため、前月比112.3%となり、前年同月との比較では、約8千トン増加したため、前年同月比102.7%の実績であった。

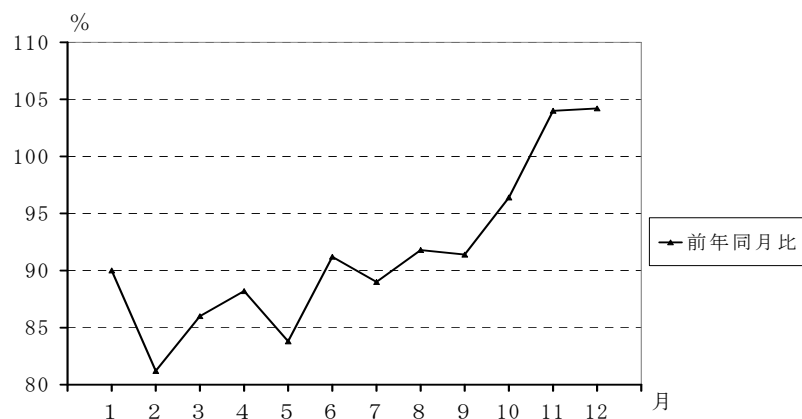
(図1-1、図1-2参照)

注) 平成21年4月から貨物輸送の調査対象については、1社増え、27社となった。

(図1-1) 輸送トン数の推移



(図1-2) 輸送トン数の前年同月比



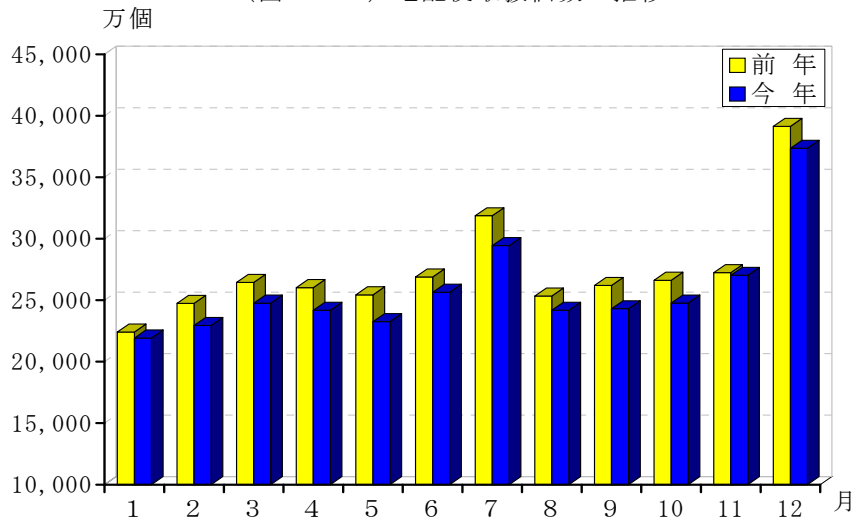
(2) 宅配便の概況

調査対象 19 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、373,514 千個で、前月と比べ 約 10,327 万個増加したため、前月比 138.2% (季節調整済み 97.2%) となり、前年同月との比較では、約 1,789 万個減少したため、前年同月比 95.4%の実績であった。

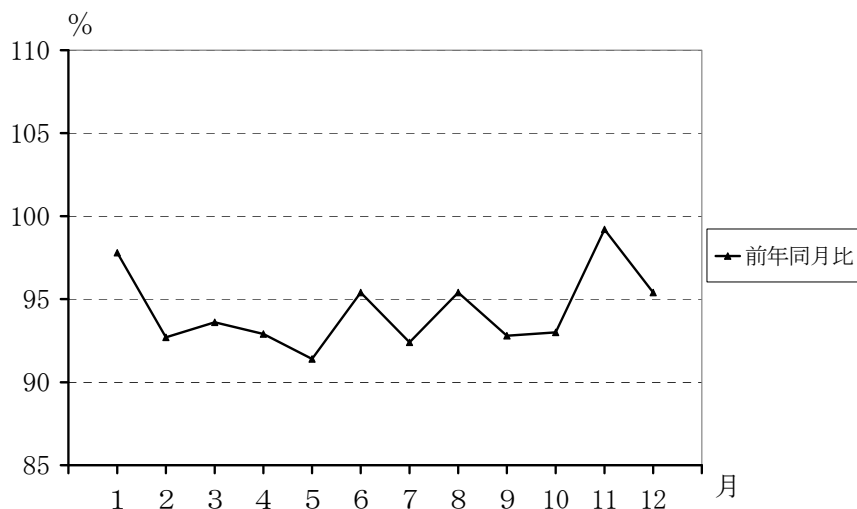
(図 2-1、図 2-2 参照)

注) 平成 21 年 4 月から宅配便輸送の調査対象については、1 社減り、19 社となった。

(図 2-1) 宅配便取扱個数の推移



(図 2-2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 調査対象 27 社の品目別及び地域別輸送状況 (表 1 参照)

前月と比べると、年末に伴うお歳暮等の貨物量の増加により、全体として輸送量が増加した。増加要因としては、工場・生産地からの貨物増及び季節的需要増がいくつかの品目に共通してみられたほか、「化学工業品」、「食料工業品」では倉庫から出る貨物増も要因となっている。地域的には、「食料工業品」が全国的に増加したほか、「機械」、「その他 (宅配便、百貨店配送品)」が東京、関東、大阪等で、「日用品」が北海道、東北、関東等で増加している。

前年同月と比べると、工場・生産地からの貨物増により、「食料工業品」等で輸送量の増加がみられた一方で、不況に伴う倉庫からの貨物減等により、「繊維工業品」、「日用品」等で輸送量が減少している。地域的には、「化学工業品」が神奈川、大阪、中国で、「食料工業品」が中部、大阪、福岡で増加がみられた一方で、「金属製品」、「繊維工業品」、「日用品」が関東地方、北陸信越、愛知、大阪等で減少したほか、「農水産品」が東北、東京、関東で減少している。

(表1) 品目別増減状況 (回答事業者数 27社)

品目	増減事業者数				主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	※ 増減要因
	著 増	増	変 らず	減 減			
前 月 に 比 べ て	農水産品	1	4	11	2	青果物 九州 東北	4, 8
	金属製品		3	15	3	関東	
	機 械		4	14	3	電気機械 機械部品 東京、関東、大阪	4
	化学工業品		7	12	3	関東	4, 7
	繊維工業品		4	16	2	神奈川、関東	4, 8
	食料工業品	3	8	9		飲料、加工食品、その他の食料工業品 東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、福岡	4, 7, 8
	日 用 品	2	7	12	1	その他の日用品 北海道、東北、関東、全国	4, 5, 8
	そ の 他	5	7	9		宅配便、百貨店配送品 関東地方、大阪、中国、全国	2, 4, 8
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品	1	1	13	2	野菜、青果物 東北、東京、関東	
	金属製品	1	2	12	6	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	9
	機 械	1	2	13	4	機械部品 電気機械 関東	9
	化学工業品	1	3	14	4	神奈川、大阪、中国 関東	
	繊維工業品		1	14	6	織物 東北、関東地方、北陸信越、中部地方、大阪、近畿、中国	4, 7, 9
	食料工業品	1	2	11	6	飲料、加工食品 中部、大阪、福岡 東北、東京	4 7
	日 用 品	1	4	7	9	衣服、身廻品、その他の日用品 北海道、東北、東京、神奈川、北陸信越、愛知、大阪	5, 7, 9, 10
	そ の 他	2	2	8	6	宅配便 百貨店配送品 東京	2, 9

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市県(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市県を含む場合はそれらをのぞく府県、九州は沖縄を含む)]単位である。なお、地方運輸局に6大都市県を含む場合は「～地方」と表記した。

※ 増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

## 2. 一般貨物

### (1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数 777 社／調査対象事業者数 1,091 社）の輸送量は、前月比 103.2%、前年同月比 102.0%であった。

(表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北陸信越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前 月 比	103.2%	99.3%	106.0%	105.9%	101.0%	101.0%	104.6%	103.9%	105.8%	108.0%	119.4%
前年同月比	102.0%	103.1%	98.4%	100.7%	93.7%	98.7%	98.2%	97.6%	105.0%	128.1%	89.5%

### (2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	本月の輸送は、対前月比 99.3%、対前年同月比 103.1%であった。品目別には、倉庫への入出庫増等により「動植物性飼・肥料」の輸送量が増加したほか、季節的需要増等により「揮発油」、「その他の石油製品」、「食料工業品」、「廃棄物」等の輸送量が増加している。一方、建設関連の需要減等により「木材」、「砂利・砂・石材」、「セメント」等の輸送量が減少したほか、季節的需要減等により「穀物」、「野菜・果物」、「その他の農産品」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
東北	本月の輸送は、対前月比 106.0%、対前年同月比 98.4%であった。品目別には、季節的需要増等により「食料工業品」、「取り合せ品」等の輸送量が増加した。一方、商社・問屋からの貨物減等により「穀物」等の輸送量が減少したほか、不況の影響等により「その他の製造工業品」等の輸送量が減少している。本月は年末のため先月より輸送の感触が高くなっているが、今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
関東	本月の輸送は、対前月比 105.9%、対前年同月比は 100.7%であった。品目別には、季節的需要増により「畜産品」、「機械」、「揮発油」、「食料工業品」等の輸送量が増加した。一方、季節的需要減により「金属製品」、「その他の製造工業品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
北陸信越	本月の輸送は、対前月比 101.0%、対前年同月比は 93.7%であった。品目別には、季節的需要増等により「その他の農産品」、「揮発油」、「その他の石油製品」、「食料工業品」等の輸送量が増加した。一方、建設関連の需要減等により「セメント」等の輸送量が減少したほか、季節的需要減等により「金属製品」、「その他の製造工業品」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
中部	本月の輸送は、対前月比 101.0%、対前年同月比は 98.7%であった。品目別には、季節的需要増により「その他の農産品」、「その他の化学工業品」、「食料工業品」等の輸送量が増加した。一方、商社・問屋からの貨物減により「取り合せ品」の輸送量が減少したほか、不況の影響により「機械」の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
近畿	本月の輸送は、対前月比 104.6%、対前年同月比は 98.2%であった。品目別には、季節的需要増等により「食料工業品」、「日用品」等の輸送量が増加した。一方、建設関連の需要減等により「金属製品」の輸送量が減少したほか、天候の影響により「野菜・果物」の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
中国	本月の輸送は、対前月比 103.9%、対前年同月比は 97.6%であった。年末休暇で稼働日数が少なかったものの、品目別には、工場・生産地から貨物増等により「その他の製造工業品」等の輸送量が増加したほか、季節的需要増等により「その他の石油製品」、「食料工業品」、「取り合せ品」等の輸送量が増加している。一方、工場・生産地からの貨物減等により「機械」、「繊維工業品」、「日用品」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
四国	本月の輸送は、対前月比 105.8%、対前年同月比は 105.0%であった。品目別には、季節的需要増により「野菜・果物」、「その他の石油製品」等の輸送量が増加した。本月は全体として前月を上回っているが、今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
九州	本月の輸送は、対前月比 108.0%、対前年同月比は 128.1%であった。品目別には、建設関連の需要増等により「砂利・砂・石材」、「セメント」等の輸送量が増加したほか、ギフト・正月用商品の受注増加や年末年始の在庫確保といった季節的需要増等により「野菜・果物」、「畜産品」、「食料工業品」、「日用品」、「動植物性飼・肥料」等の輸送量が増加している。一方、不況の影響等により「機械」、「その他の製造工業品」等の輸送量が減少した。本月は年末の一時的な需要と感じている事業者が多く、今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
沖縄	本月の輸送は、対前月比 119.4%、対前年同月比は 89.5%であった。品目別には、輸出入の貨物増により「日用品」等の輸送量が増加した。一方、季節的需要減により「穀物」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月は減少傾向、以降はほぼ横ばいと予想される。

## (3) 運輸局別、品目別増減状況（対前月比）

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

品目		運輸局	北海道	東北	関東	北信	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
		増	減	増	減	増	減	増	減	増	減	増	減
1. 穀物	増	1	1		2						1		5
	減	4	2									1	7
2. 野菜・果物	増				1				3	5			9
	減	3	1		1		1	1		2			9
3. その他の農産品	増	1		1	2	1			1	2	1		9
	減	7	2							1			10
4. 畜産品	増			1	1						2		4
	減	1	1								1		3
5. 水産品	増	1			2		1	1	1	1			7
	減	2	1		1								4
6. 木材	増				2				2			1	5
	減	5	2		1						1	1	10
7. 薪炭	増												
	減												
8. 石炭	増												
	減	2											2
9. 金属鉱物	増										1		1
	減												
10. 砂利・砂・石材	増	7	1						1	3			12
	減	9	2		1	1			1	2			16
11. 工業用非金属鉱物	増	1	2					1	1	2			7
	減				1								1
12. 鉄鋼	増	1						1	1	1			4
	減	3	1		1			1	1	1			8
13. 非鉄金属	増		1					1					2
	減												
14. 金属製品	増				1				1			1	3
	減	1		1	2		2				1		7
15. 機械	増			1	2	1	1	1	1	1	2		9
	減	2	1		4	1		2	1	3			14
16. セメント	増	3	1						1		6		11
	減	3			2				2		1		8
17. その他の窯業品	増		1	1					2				4
	減	1	1						1				3

品目	運輸局	北海道	東北	関東	北信	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
					陸越							
18. 揮発油	増	4	4	1	3				1	1		14
	減											
19. その他の石油製品	増	3	1	2	3		1	4	2	2		18
	減											
20. コークス・ その他の石炭製品	増				1							1
	減											
21. 化学薬品	増		1									1
	減				1		1	1		1		4
22. 化学肥料	増		1		1			1				3
	減	1			1			1		1		4
23. その他の化学工業品	増					1		1	1			3
	減									1		1
24. 紙・パルプ	増	2	2		1		1	2	1	2		11
	減							1				1
25. 繊維工業品	増				1			1	1			3
	減							2		1		3
26. 食料工業品	増	5	6	1	4	1	3	7		5		32
	減				1					2		3
27. 日用品	増	2		1	2	1	3	1		7	2	19
	減	1						2	1	1		5
28. その他の製造工業品	増							4		5		9
	減	2	2	1	1					2		8
29. 金属くず	増										1	1
	減											
30. その他のくずもの	増							2				2
	減											
31. 動植物性飼・肥料	増	5	2	1						3		11
	減				1							1
32. 廃棄物	増	9					1					10
	減	1						1	1			3
33. 輸送用容器	増				1					1	1	3
	減								1			1
34. 取り合せ品	増		3		1		1	3		1	1	10
	減	1	1			1		1				4
35. その他	増		2	2	2	2	4	3		2		17
	減		2	1	3	1	1	2		2		12